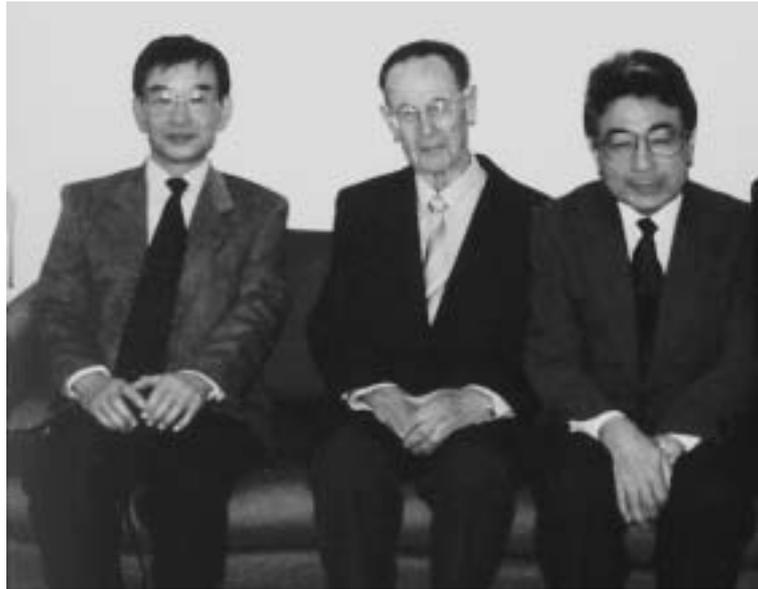


退官を迎えてお礼

- 沖縄はシルクロードの終着駅? -

琉球大学医学部 細胞病理学分野  
岩政 輝男



左より、小生、Järvi先生、町並先生（東京大学名誉教授）

琉球大学に医学部が設置され、以来今日まで病理学第二講座（現細胞病理学分野）の教授として勤務いたしました。医師会の先生方には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。特に平成12年4月より平成16年3月まで医学部長を務めました折りは医師会会長をはじめ、皆様にご協力いただき感謝しております。

私は医学部を離れますが来年5月までは琉球大学副学長、財務・施設・病院担当理事として大学に残りますので、宜しく願いいたします。

医学部在職中は沖縄の疾患を中心に検討を行い、地理病理学を大切に考えて仕事をして参りました。最近考えたことをお話しさせていただきます。

シルクロードは中国の西安から楼蘭を経てローマに通じます。シルクロードに関する記述をみますと、ローマとは逆方向、楼蘭→西安→平城京（日本）へのルートが記してあり、西域の

産物が日本へももたらされています。本土には正倉院が建てられ様々な西域の産物が残っています。しかし、私は西安→平城京よりむしろ楼蘭→沖縄の方がメインルートではないかと勝手に想像しています。その理由としまして、高温多湿の沖縄にはシルクロードの産物は保存されていませんが残っているものがあります。

御存知のように最近、AIDSではしばしばカポジー肉腫の発生が報告されていますが、古くよりローマを中心とする地中海沿岸にはAIDSとは全く無関係にカポジー肉腫（古典型カポジー肉腫と呼んでいる）が知られています。沖縄にもこの古典型カポジー肉腫の症例がかなり多くみられます。カポジー肉腫はヒトヘルペスウイルス8型（HHV8）の感染により起こることが明らかとなり、沖縄のカポジー肉腫にも全てHHV8の感染が証明されます。我々の検討では沖縄におけるこのウイルスの感染率は約7%で

すが本土では約0.2%です。さて、このウイルスはどこから沖縄にもたらされたかということを考えてみる必要があります。楼蘭（新疆ウイグル地区）の人々は約50%以上が感染者であることが明らかとなりましたが、楼蘭よりHHV8はシルクロードを伝わり地中海沿岸に感染をもたらす古典型カポジ肉腫の発生がみられ、逆方向の沖縄にもHHV8は伝わってきたと考えられます。HHV8のウイルス遺伝子を検討しますとA、B、Cの亜型がありますが、楼蘭地方のHHV8はC型です。沖縄のものも教室の神山君の検討で全てC型です。他方、AIDSに伴ってみられる欧米のカポジ肉腫はA、B、C等様々のタイプのHHV8感染がみられます。残念ながら地中海地方の古典型カポジ肉腫のHHV8については詳しく検討した報告はありません。しかし、HHV8は楼蘭より地中海地方に伝わり沖縄にもC型HHV8が伝わっています。沖縄は高温多湿であり、本土の正倉院に残っているような西域の産物は残っていませんが、HHV8に楼蘭との交流の歴史をとどめています。沖縄はローマとは逆方向のシルクロードの

終着駅であろうと想像をめぐらしています。このこととは別に、沖縄には本土ではみられないelastofibroma dorsiと呼ばれる腫瘍の発生が稀にみられます。この腫瘍は沖縄以外ではフィンランドとエストニア（フィンランドと同じ民族）に認められます。この腫瘍の発生がみられる人々のルーツはもしかすると西域ではないかと考えると興味が湧きます。Elastofibroma dorsiはフィンランドのTurku大学教授、Järvi先生が発見したものです。1998年、先生をフィンランドに訪ねました。写真はその時のものです。フィンランドでは沖縄より発生頻度が低いことがわかりました。

琉球大学に参りまして今日まで沖縄の疾患を検討し、タイやラオスから伝わったといわれる泡盛に親しみ、古くからの沖縄の文化や歴史に接しました。そして現代の欧米や周囲の国々との交流のなかで何とか今日まで職を全うさせて頂きました。心からお礼申し上げます。

今後も県内に居りますので、宜しく願い致します。

**原稿募集！**

**随筆のコーナー（2,500字以内）**

随時、募集いたします。日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などのほか、紀行文、特技、書評など、お気軽に御寄稿下さい。